



小学校高学年向け 年 組

(2023年12月16日付・下野新聞1面)

家族と過ごす時間拡大へ

小中校、平日に活動休暇

来年度から
年3日間
日光市が県内初

日光市は15日、子どもに
平日、学校を休ませ、家族
と校外活動を行うことを認
める「ラーケーション制度」
を来年4月に市内小中学校
で導入することを明らかに
した。観光産業が主力の同
市では土日、祝日に休暇を
取得できない親も多い。市
は「休み方改革」により
家族と過ごす時間が拡大。
親、子どもの双方にメリッ
トをもたらすとしている。
市によると、同様の制度導
入は県内で初めて。

同日開かれた市議会議員
全員協議会で説明した。
「ちょこっとスタバケ日
光」の名称で制度化する。
「スタバケ」は子どもの学
習(スタディー)と親の休
み(バケーション)を組み

合わせた造語という。
家族で旅行や自然体験、
芸術活動、スポーツ体験な
どをする際、学校に届けを
出せば、3日間(連続取得
も可)の活動休暇が認めら
れる。
こうした「休み方改革」

の推進は、6月に全国知事
会が提言。ラーケーション
制度は名古屋市を除く愛知
県と大分県別府市が本年度
の2学期から導入し、沖縄
県座間味村が来年4月から
の導入を予定している。
日光市は制度化すること
で、子どもの体験の機会や
親と過ごす時間が増えるほ
か、保護者にとっても休日
の過ごし方の幅が広がり、
年次休暇の取得促進などが
期待できるとしている。

は「観光を主産業とする日
光では親子で休日を通じ
ない家庭も多い。教育に携
わる側、労働に携わる側の
双方から『休み方』改革を
求める声があった」とし「子
どもと保護者の触れ合いの
機会を増やすことで、休暇
満足度の向上、年次有給休
暇の取得促進が図れる。こ
れが雇用の促進や生産性の
向上、さらには移住・定住
にもつながることを期待し
ている」と話した。
(大塚順一)

設 問

【1】「ラーケーション制度」とは、どのような
制度なのか説明しましょう。

【2】日光市では、来年4月にラーケーション制
度を「ちょこっとスタバケ日光」という名称で導
入します。その「スタバケ」という言葉について、
どのような説明をしていますか。□の中に入る言
葉を、記事の中から書きぬきましょう。

を組み合わせた造語

【3】ラーケーション制度を導入した地域はどこ
でしょうか。予定している地域も含めて、三つの
地域を答えましょう。

【4】なぜ「日光市では親子で休日を過ごせない
家庭が多い」と述べているのでしょうか。「観光」
という言葉を使って、その理由を答えましょう。

【5】ラーケーション制度の導入によって日光市
が期待していることについて、下の図に入る言葉
を入れましょう。

